

機関番号：34315  
 研究種目：若手研究(B)  
 研究期間：2008 ~ 2010  
 課題番号：20730168  
 研究課題名(和文)金融グローバル化が発展途上国の不平等と貧困に及ぼす影響に関する研究  
 研究課題名(英文)A Study on the Effects of Financial Globalization on Inequality and Poverty in Developing Countries  
 研究代表者  
 カンクック リ (Kangkook LEE)  
 立命館大学・経済学部・教授  
 研究者番号：00367988

## 研究成果の概要(和文)：

本研究の目的は、発展途上国における所得分配と貧困に対する金融のグローバル化の影響について明らかにすることである。この研究は金融のグローバル化と所得格差、貧困の間にある複雑な関連性について研究した。この研究の結果を国際学会そして多くの論文と著書を発表した。枠にとらわれず広範囲にわたる理論を骨組みとして、実証的な、そして詳細なケーススタディを積み重ねることによって、この研究が今日のグローバル化と格差に対する議論に貢献をした。

## 研究成果の概要(英文)：

The purpose of this research is to clearly examine the effects of financial globalization on income distribution and poverty in developing countries. This study analyzes the complex relationship between financial globalization, income inequality and poverty. The author presented the research results in many papers, books and at several international conferences. This study carried out research, incorporating theory, empirical methods, and case studies, and made a contribution to the current debates on this topic.

## 交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008 年度	600,000	180,000	780,000
2009 年度	900,000	270,000	1,170,000
2010 年度	700,000	210,000	910,000
総計	2,200,000	560,000	2,760,000

研究分野：経済政策

科研費の分科・細目：経済学・応用経済学

キーワード：金融グローバル化、発展途上国、所得分配、貧困、経済成長

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 近年世界経済で金融グローバル化が急速に発展していてその経済的影響について

関心が高くなっている。特に金融危機など経済不安定の深化を通じて発展途上国の経済成長と所得格差を悪化させるという憂慮が

大きくなっている。

(2) 金融グローバル化が経済成長に及ぶ効果に対しては既に多くの研究があるが、金融グローバル化と所得不平等、そして貧困の間の関係に対してはより多くの研究の発展が必要な状況である。したがってこの研究は金融グローバル化が所得不平等と貧困に及ぶ結果について詳細に分析する。

## 2. 研究の目的

(1) 金融グローバル化が発展途上国の所得不平等と貧困にどのような様にして複雑な経路と絡み合い影響を及ぼすのか分析する。また、資本自由化など金融開放政策とグックインの直接投資、証券投資、銀行貸し出しなど国際的な資本移動が国内の所得格差にどのような影響を及ぼすのか研究する。

(2) そしてこのような変化が成長と分配に与える総合的な影響を考慮して貧困にどのような影響を及ぼすのか研究する。特に制度の発展と金融市場の発展など各国ごとにお互いに違う状況と条件がこのような関係にどのような影響を及ぼすのか分析する。

(3) また金融グローバル化の費用を最小化して利得を極大化するための政府の政策対応を提示する。

## 3. 研究の方法

(1) 既存の多くの文献研究を整理・再調査を行い研究主題と係わった理論を発展させた。

(2) そして世銀の世界開発指標と WIDER の World Income Inequality Database など国際的データベースを使って研究課題に対する実証分析を実施した。

(3) そして、韓国を含む多くの国々の具体的な歴史的経験を分析した事例研究を遂行した。事例研究では金融開放政策の変化をよく見てこれと係わる国際的資本移動そしてマクロ経済の変化に対して分析した。

## 4. 研究成果

(1) 多数の既存の研究を整理し、実証分析を進行、韓国など各国の事例に基づいた具体的な歴史的、制度的研究をおこなった。

(2) 理論的に金融グローバル化と所得格差の間が連関された可能性を提示して、Gini index を使った cross-country 計量分析を通じてこれを検証した。金融グローバル化は海外直接投資を通じて発展途上国内の熟練労働者と非熟練労働者の間、そして高所得者と低所得者間の格差を拡大させ、また、金融グローバル化以後現われた金融危機と金融不安定はすべての国で所得分配と不平等を悪化させる。このような内容を国際的な data を使った実証研究を通じて確認した。

(3) また韓国の金融自由化と金融危機など具体的な歴史的事例も研究をおこなった。この研究は、特に金融開放と金融グローバル化の発展は、経済不安定深化と制度の変化などを通じて所得分配と貧困を悪化させる可能性があることを明確にした。韓国の場合、1990年代の性急な金融自由化と開放政策によって1997年金融危機が発生した。金融危機以後、信者幼主義賊構造調整とともに、既存の東アジア経済 model が崩壊し、信者幼主義賊経済構造が現われたが、その結果投資の低下と共に深刻な所得不平等と貧困の深化が現われた。このような変化は、金融グローバル化が発展途上国経済に及ぼす悪影響を非常に顕著に表している。

(4) このような成果を基に多くの論文と著書を書き、国内外の多くの学会へ発表した。筆者はトルコ、タイそして韓国などの多様な国々で開催された国際会議とセミナーで以上の研究成果たちを発表して討論した。そしてこの研究成果の基礎として多くの学術雑誌の論文たちと諸本を使用した。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に

は下線)

〔雑誌論文〕(計4件)

Kang-Kook Lee and Islam, Rabiul. (2011年発行予定). Financial Development and Financing Constraints in a Developing Country: The Case of Bangladesh. *Indian Economic Review*(査読有)

Kang-Kook Lee. 2010. Global Imbalances and the Global Financial Crisis: An Examination of Unbalanced Globalization and Future Prospects. *Ritsumeikan Economic Review*. 58-(5/6)(pp525-pp539)(査読無).

Kang-Kook Lee and Crotty, James. 2009. Was the IMF-Imposed Economic Regime Change in Korea in the Wake of the 1997 Crisis Justified?: The Political Economy of the IMF Intervention. *Review of Radical Political Economy* Vol.41-42.pp149-169(査読有)

Kang-Kook Lee. 2008. Privatization and Globalization in Southeast Asia: The Case of the Energy Industry (in Korean). *Democratic Society and Policy Study*. Vol.14. pp5-pp19(査読有)

〔学会発表〕(計5件)

Kang-Kook Lee. 2009年2月27日. Financial Globalization and Income Distribution. Seongonghoi University ソウル(韓国)

Kang-Kook Lee. 2009年8月19日. The Post-Crisis Changes in the Financial System in Korea: Problems of Neoliberal Restructuring and Financial Opening after 1997. Third World Network, Conference on the effects of the global financial crisis on Asian developing countries and policy response and lessons. ペナン(マレーシア)

Kang-Kook Lee. 2009年10月13日. Winners and Losers of Globalization.

Economics Association, Kyungpook University, Daegu(韓国)

Kang-Kook Lee. 2010年9月1日. Changes in the Financial System and the Financial Crisis in Korea. Turkish Economic Association, International Conference on Economics 北キプロス(キプロス共和国)

Kang-Kook Lee. 2010年10月23日. The Political Economy of Global Imbalances and the Global Financial Crisis. 経済理論学会, 第59回大会, 関西大学(大阪府)

〔図書〕(計7件)

Kang-Kook Lee. 2010. Edited by. Namjoo Lee et al. Income Distribution and Economic Growth, in *The Encyclopedia of the Left and Right (Korean)*. Wisdom House. (pp250-pp269)

Kang-Kook Lee. Ed. By Hyunki Kim. 2010. Winners and Losers of Financial Globalization, in *Globalization and State Strategy (Korean)*. Kyungpook University Press(pp146-166)

Kang-Kook Lee. Ed. By Jesook Song. 2010. Neoliberalism, the Financial Crisis and Economic Restructuring in Korea, in *Neoliberalism in Korea, in New Millennium South Korea: Neoliberal Capitalism and Transnational Movements*. Routledge. (pp29-pp45)

Kang-Kook Lee. 2010. *The Post-Crisis Changes in the Financial System in Korea: Problems of Neoliberal Restructuring and Financial Opening after 1997*. Third World Network. (P72)

Kang-Kook Lee. 2009. Edited by Johnathan P. Goldstein and Michael G. Hillard. From Capital Controls and Miraculous Growth to Financial Globalization and the Financial in *Heterodox Macroeconomics: Keynes, Marx and Globalization*. Routledge. (pp 211-224)

李康國. 2009. 徐勝, 李康國編. 序論 韓  
國の成長, 分配そしてグローバル化. 韓米  
FTA と韓国經濟の危機. 晃洋書房(P238)

Kang-Kook Lee. 2008. Globalization,  
Income Distribution and Poverty: Theory  
and Reality, in *Globalization and Income  
Distribution (in Korean)*. Korea Institute  
for Health and Social Studies(P212)

Kang-Kook Lee. 2008. *Capital Account  
Liberalization and Economic Growth: New  
Measures, New Estimates and the Experience  
of South Korea*. VDM (Verlag Dr.  
Muller)(P190).

## 6 . 研究組織

### (1)研究代表者

カンクック リ(Kangkook LEE)

立命館大学・経済学部・教授

研究者番号 : 00367988